

1 産地の概要

- ＜対象地域＞ 鹿島南部地域（鹿嶋市、神栖市）
- ＜対象品目＞ ピーマン
- ＜産地の現状・課題＞
 - ・当ピーマン産地は、JAなめがたしおさい波崎青販部会及び同JA青果物生産部会が中核となり、促成栽培、半促成栽培、抑制栽培を組み合わせた周年栽培を行っている。産出額は118億円（H29）であり、全国一である。
 - ・促成栽培は、収量の低さが一因となり所得率が低く、作付けが減少傾向である。半促成栽培は、大部分の生産者が栽培する作型であり、所得向上のために一層の収量向上が求められている。
 - ・産地に導入されつつある環境測定データに基づく栽培管理及び炭酸ガス施用等の環境制御技術の確立による促成栽培と半促成栽培の収量向上が急務である。

2 検討体制

- ＜鹿島南部地域ピーマン営農体系確立検討協議会構成員と役割＞
 - ・JAなめがたしおさい波崎青販部会、同JA青果物生産部会（技術の検証・検討、検証圃場の栽培管理）
 - ・JAなめがたしおさい（技術の検証・検討、検証技術の普及）
 - ・ネポン株式会社（機器設置・保守、データ分析）
 - ・鹿嶋市、神栖市（検証技術の普及支援）
 - ・茨城県（技術の検証・検討、技術的アドバイス、検証技術の普及・普及支援）



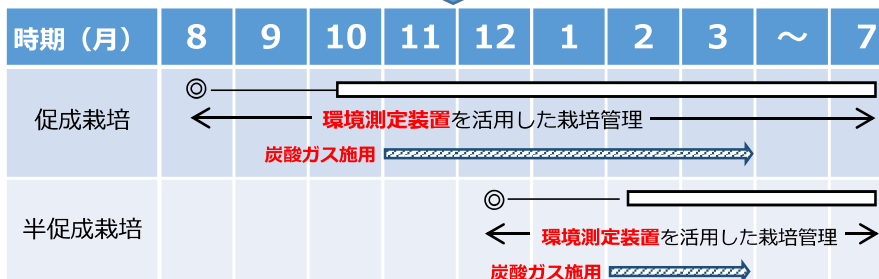
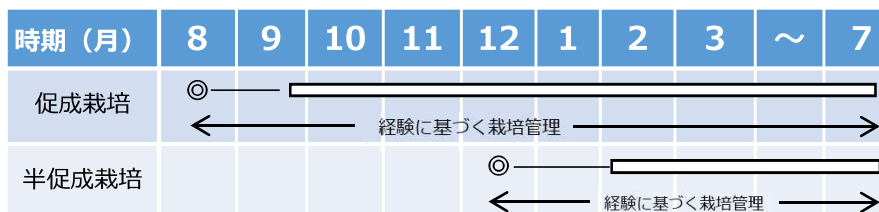
炭酸ガス施用



環境測定データに基づく栽培管理

3 新たな営農技術体系への転換

＜目指す産地像＞
環境測定データに基づく栽培管理及び炭酸ガス施用等の環境制御技術を導入した安定多収営農体系により生産を拡大し、産地を強化する。



凡例 ◎:定植 □:収穫期間

＜新たな営農技術体系の効果（検証結果 R3.5末時点）＞
収量（慣行対比）半促成栽培：**116%**、促成栽培：85%（病害虫の影響）

＜新たな営農技術体系の今後の取組内容＞

取組主体	R 3	R 4	R 5
JAなめがたしおさい	環境制御技術の検証・導入		導入面積拡大
ネポン株式会社	環境制御技術の導入・活用支援		
普及組織	環境制御技術の検証・普及		